

# マイクロファイナンス の すすめ

ダイワ・マイクロファイナンス・フォーラム2009

2009年10月27日(火)

菅 正広

# 構成

1. マイクロファイナンスとは？
2. 貧困の現状(海外 + 国内)
3. 世界のマイクロファイナンス
4. 日本版ビジネスモデル
5. 金融機関の貢献
6. 世界金融危機後の新たなモデル

# マイクロファイナンスとは？

▶ 「貧困に苦しむ人々のための少額 無担保融資などの金融サービス」

## ▶ 通常の銀行の発想をひっくり返した画期的な金融 （【資料1】）

「銀行は、通常、貧しい人にはお金を貸さない」  
)

- 信用力もないし、貸倒リスクが高い。
- 少額ローンは取引コストがかかり、ペイしない。
- 担保がなければ、万一の時に回収できない。

- **貧困に苦しみ信用力のない人に無担保で融資。**
- **貸倒率は1～2%という驚異的実績。**
- **130ヶ国以上で、1万機関(MFI)が約1.5億人に300億ドル(約3兆円)を融資。**
- **開発途上国のみならず、米英仏独蘭等先進国でも。**

## 【レモン問題(情報の非対称性)の解き方】

- 「逆選択」や「モラルハザード」をなくす工夫、手間、コストをかける。

たとえば、

- 借り手との密接なコンタクト 人物・事業の目利き
- 自立・就労支援 きめ細かな信頼関係
- 融資後もフォローアップやモニタリング  
問題を早めに察知し助言
- グループ貸し 仲間を裏切れない気持ち  
など

## 【マイクロファイナンスの理念(エッセンス)】

- ▶ ビジネスの手法を用いて、私的利益と社会的利益の両立を追求。
- ▶ 「信頼」
  - ・「貸す・借りる」「与える・もらう」
  - ・「施し」・「慈善」とは異なり、生きる「自信」や社会との「きずな」・「つながり」を回復 返済率



# 貧困の現状

## 【世界の貧困】

➤ 貧困は人類が直面する未解決の大問題の一つ。

➤ 貧困ライン(1日1ドル未満の生活費)以下の世界人口は、**9.8億人(2004年)**・・・世界の**6人に1人**

➤ **1日2ドル未満は27億人(2001年)**・・・**4割以上**

➤ 国連ミレニアム開発目標(MDGs):**2015年までに1日1ドル未満で生活する貧困人口を1990年(27.9%)比で半減。**

## 【国内の貧困】

➤ 「生存権以下の貧困」を救済すべき貧困とすると、日本でも貧困は例外的ではなく、無視できない規模。

- 1 . **生活保護世帯数** : 114万世帯 (2008年度)  
被保護人員 : 159万人 (2008年度)  
(捕捉率を20%とすれば) : 最低生活費以下の推定世帯数 : 570万世帯  
(日本の全世帯の1割以上)
- 2 . **餓死者** : 72人 (過去10年間平均) (全国で約5日に1人が餓死)
- 3 . **ワーキングプア**  
**年収200万円未満の就業者数** : 2,196万人 (2008年)  
(全就業者6,378万人の約3分の1)
- 4 . **失業者** : 361万人 (2009年8月)
- 5 . **ホームレス** : 1.6万人 (2008年)  
ネットカフェ難民 : 5,400人 (2007年)
- 6 . **多重債務者** : 118万人 (2008年)
- 7 . **相対的貧困率** : 14.9% (2005年) . . . 増加基調 (OECDワースト4)

# 世界のマイクロファイナンス

- ▶ 開発途上国の貧困削減、女性のエンパワーメントに大きな効果。
- ▶ 先進国にマイクロファイナンスが導入された背景 = 「市場の歪み」と「財政制約」  
社会的排除から社会的包摂へ。

## 【先進国のMF】

### ◆米国

ACCION USA/CDFI/KIVA/  
MFIC/Calvert Foundation

### ◆英国

Street UK/CDFI

### ◆フランス

ADIE

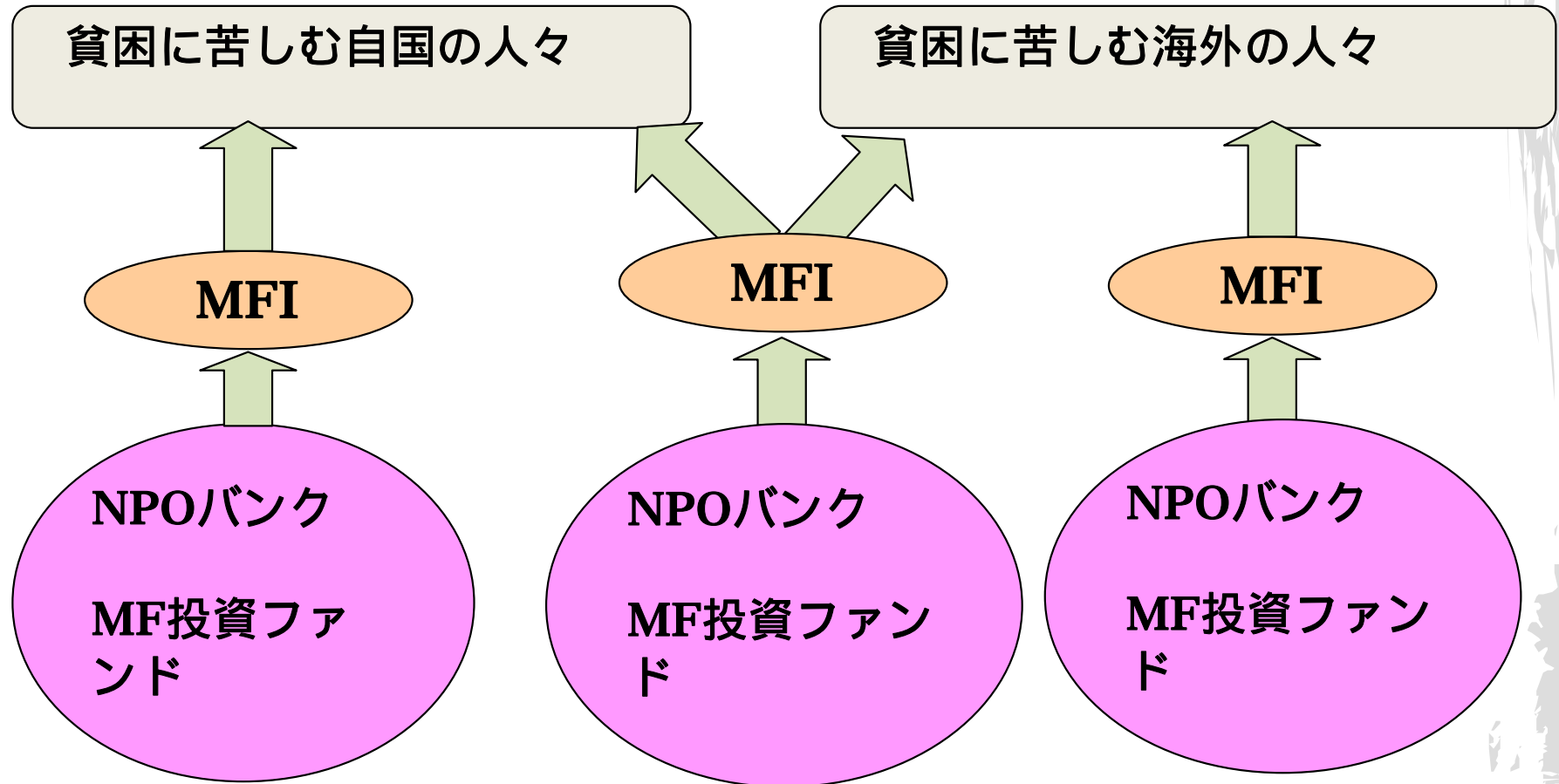
### ◆オランダ

トリオドス銀行/オイコクレジット

### ◆ドイツ

DBMDF

# 【先進国のマイクロファイナンス】



(注) MFはマイクロファイナンス (Microfinance) を、MFIはマイクロファイナンス機関 (Microfinance Institution) を各々表わす。

# 日本版ビジネスモデル



➤ **日本版ビジネスモデル(【資料2】)**

**(ポイント1) 融資原資の集め方(【資料3】)**

**(ポイント2) 借り手との信頼関係の構築**

**消費者金融とマイクロファイナンスは全く異なる別モノ(【資料4】)。**

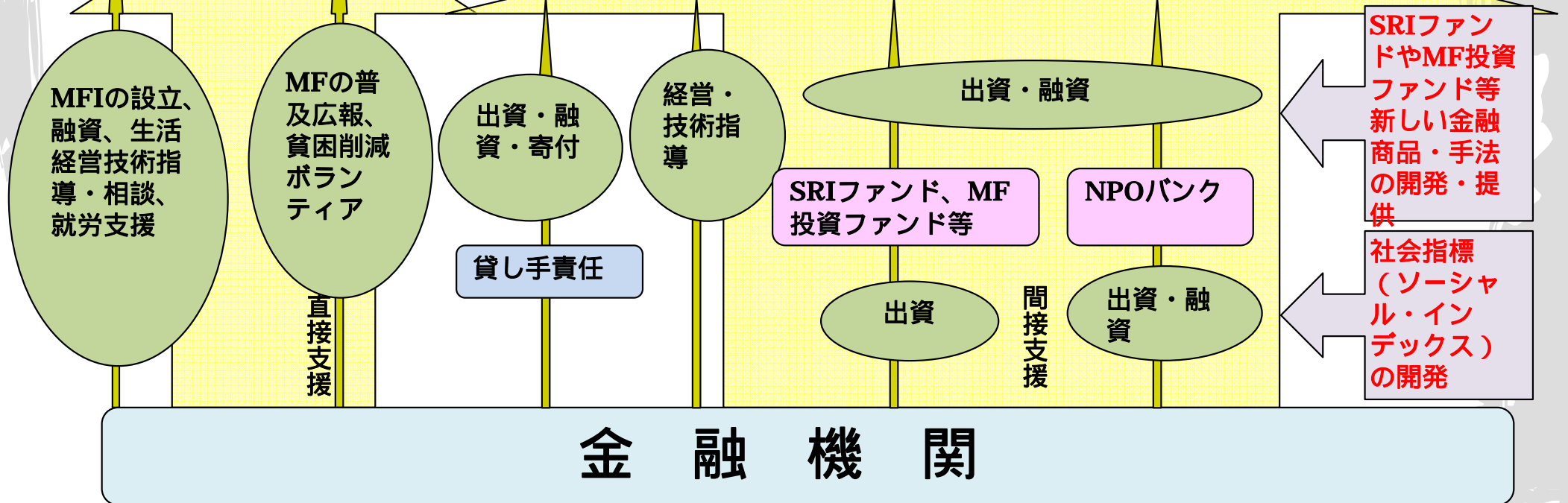
# 金融機関の貢献

# 【MFにおいて金融機関が果たせる役割 海外・国内】

国の内外の貧困削減

マイクロファイナンス(MF)

内外のマイクロファイナンス機関(MFI)



- **金融機関がMFを支援・実施することは、どうして正当化されるのか？**

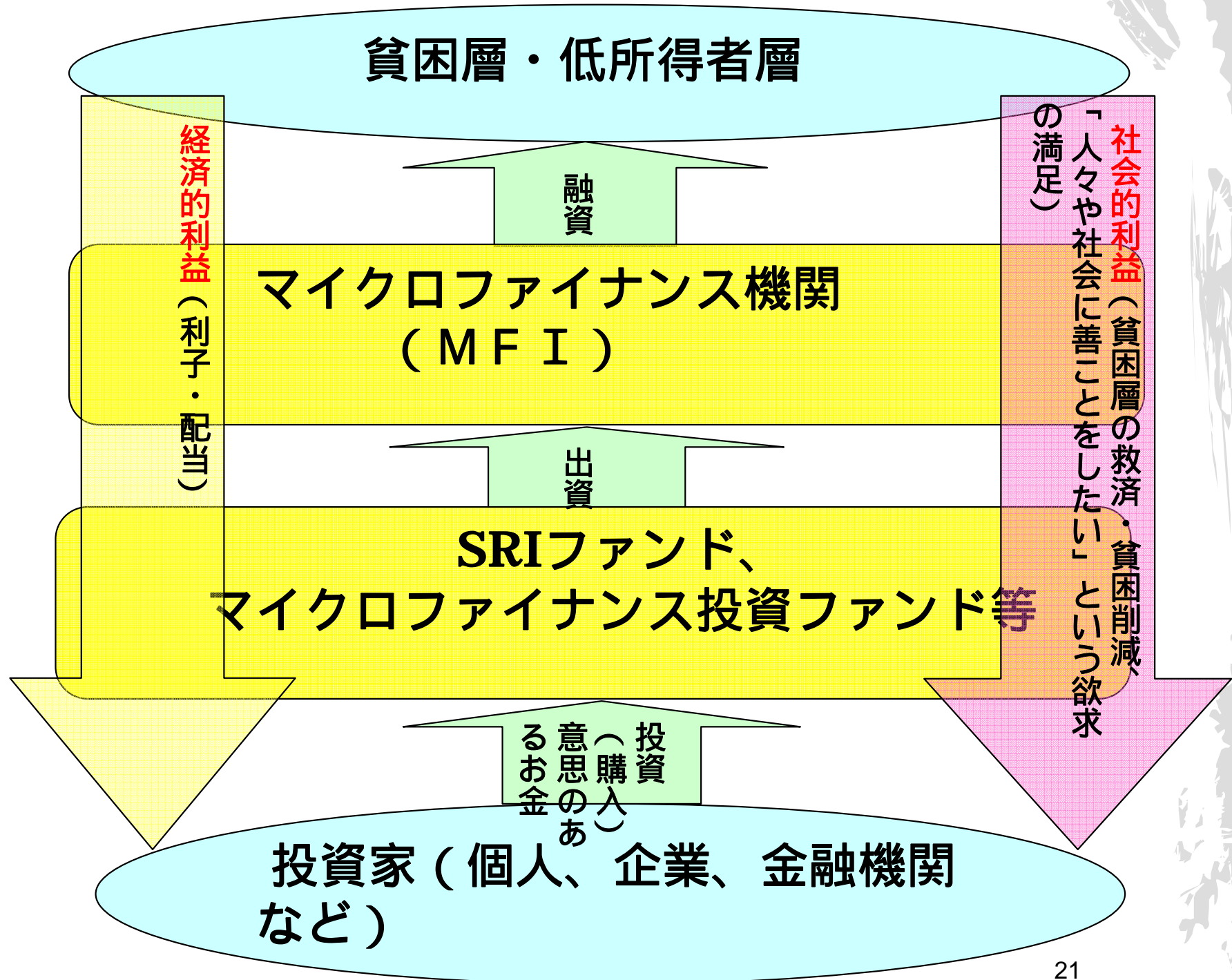
### **(経済的価値の実現)**

- **MFへの投資動向(2,500億ドル(約23兆円)の資金ギャップ + 経済的リターン)**
- **新しい金融手法の実験の場(顧客開拓)**
- **金融機関の信用やブランドの向上**

### **(社会的価値の実現)**

- **CSR(金融機関の公共性)**

# 【SRIファンドのイメージ図】



# 世界金融危機後の新たなモデル

## ▶ 世界金融危機が問いかけるもの

- 利益最大化という一点を究極まで追求し、欲望が制御されないまま暴走すれば、破綻をきたし社会の秩序や繁栄はもたらされない。
- 深刻化した貧困や格差を市場が自動的に解決してくれることもない。

市場の論理を超えた仕組み、サステナブルな住みやすい社会をいかに作るか？

▶ **マイクロファイナンス(金融分野のソーシャル・ビジネス)は、世界金融危機後のパラダイムシフトにおける新たな一つのモデル。**

**私的利益と同時に社会的利益も求める複線的価値観に立って市場の論理を超えた仕組み。**

**マイクロファイナンスやソーシャルビジネスはサステナブルで住みやすい、貧困のない社会づくりの原動力に。**



ご静聴有難うございました。